



事業の概況

■ 預金

預金は、半期中44億78百万円増加し、中間期末残高は4,482億98百万円となりました。このうち普通預金は、半期中129億4百万円増加し、中間期末残高は252億20百万円となりました。

■ 貸出金

貸出金は、半期中1億71百万円増加し、中間期末残高は252億20百万円となりました。これらはすべて個人向け貸出金であります。

■ 有価証券

有価証券は、半期中216億95百万円減少し、中間期末残高は3,647億18百万円となりました。

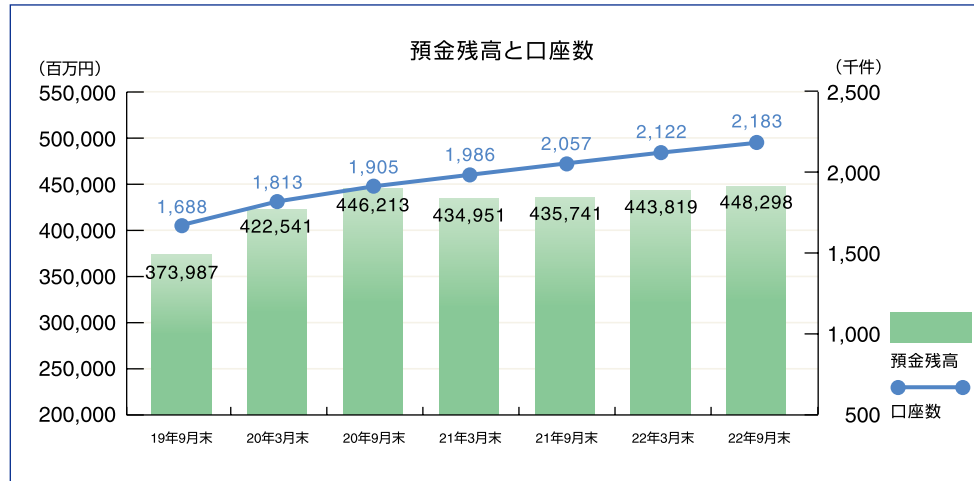
■ 損益の状況

収益につきましては、市場金利の低下等により資金運用収益が減少いたしました。外国為替証拠金取引(FX)の手数料無料キャンペーンの実施等により役務取引等収益が減少する一方で、FXにかかる外国為替売買益が増加し、その他業務収益が増加いたしました。

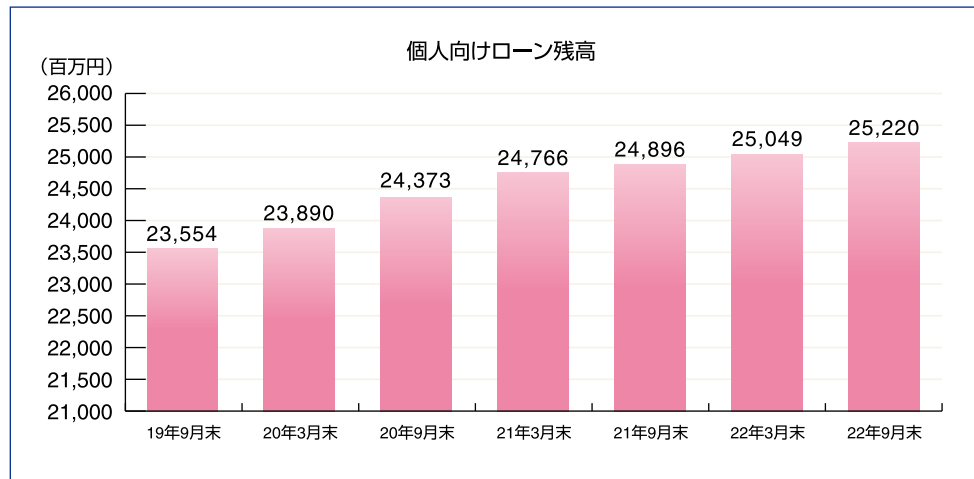
これらにより、経常収益は前中間期比3億96百万円減少し、95億36百万円となりました。費用につきましては、預金金利の引き下げにより資金調達費用が減少いたしました。また、国債等債券売却損の減少によりその他業務費用が減少し、株式先物取引費用等の減少によりその他経常費用が減少いたしました。

これらにより、経常費用は前中間期比3億97百万円減少し、82億86百万円となりました。このほか、繰延税金資産の減少に伴い、法人税等調整額79百万円を計上いたしました。以上の結果、経常利益は12億49百万円、中間純利益は11億33百万円となりました。

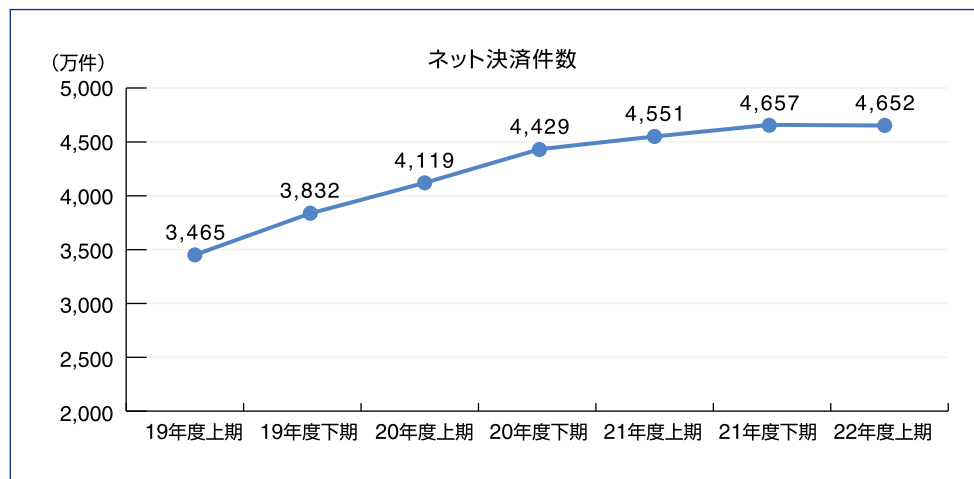
■預金残高と口座数の推移



■個人向けローン残高の推移



■ネット決済件数※の推移



※通常の振込とXMLを利用した即時決済取引、toto関連決済取引およびワンタイムデビット決済の合計件数